

(4) 一単位時間で



単元構想が終わったら、次は一単位時間（本時）の授業の構想を立てよう。
一単位時間の授業を構想するときも、単元を構想するときと同じように考えればいいよ。一単位時間の授業の中で、授業のゴールから、終末→展開→導入へとさかのぼった授業の構想を立てよう！それでは、シートを紹介するよ。



「授業ナビシート」を活用しよう

年間 単元 本時

単元全体の構想が固まれば、「授業ナビシート」を活用して、一単位時間ごとの計画を立てていきます。単元で育成したい資質・能力と本時のめあて、「読み解く力」の二つの側面と三つのプロセスを考慮して、授業の流れを組み立てます。子どもが主体となり、課題に取り組むための導入、必然性のあるペア・グループ学習、学びを深めるための交流や振り返り等、授業中の各場面における子どもの反応を予測し、必要な手立てを準備しておきます。このことで、指導者は子どもの具体的な学びの過程と目指す姿を念頭において授業に臨むことができます。

①本時に育成したい資質・能力、本時のめあてについて記述する。

②本時で想定している「読み解く力」を、高め、発揮している姿を記述する。

授業ナビシート 第4学年 算数科 「面積（広さの表し方を考えよう）」（大日本図書） 第6時／全11時

○本時に育成したい資質・能力

- 図形の構成の仕方に着目して複合図形の面積の求め方を考え、説明している。（思考力、判断力、表現力等）
- 複合図形の面積の求め方について多面的に考えようとしたり、よりよい求め方を考えようとしたりしている。（学びに向かう力、人間性等）

○本時のめあて

ふくざつな図形の面積は、どうすれば求められるかな。

○本時の展開（めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画、ICTの活用方法等）

○二つの側面、三つのプロセスとの関係

二つの側面	三つのプロセス
A…主に文章や図、グラフから	①…発見・蓄積
B…主に他者とのやりとりから	②…分析・整理
	③…再構築

【A①】既習事項から正方形や長方形面積の求め方を用いて複合図形の面積を求めることができることを見いだしている。

【A②】課題の図形とこれまでに解決した図形を比べて共通点を見いだしている。

【B③】課題の図形の面積の求め方を友達との話し合いを通して考えたりしている。

【A③】簡潔・明瞭・的確の視点をもって複合図形の面積の求め方を説明している。

①本時の課題を確認する（2分）

・本時までを振り返り「陣取りゲーム」で面積を比べるために、求める必要がある形の面積を確認する。

「陣取りゲーム」で取った面積を比べるために、「求める必要がある形の面積を確認しよう。」

問題：どちらの図形の面積が、大きいかな？

この形なら、切ったら求められそうだな…

今日の図形は、カクカクしている。でも、この間の方法を使えばどうかな。

②めあてをもつ（2分）

ふくざつな図形の面積は、どうすれば求められるかな。

③見通しをもつ（3分）

これまでの学習で見出した面積の求め方の方法を共有し、それを生かすことで解決できることを確認する。

長方形、正方形に分けられるかな？

L字型の図形では、うめであとから引く方法もあったよな！

④自力・協働解決（20分）

・同じ課題に取り組む児童同士が必要に応じて交流を促す。

縦に切って考えてみよう。

式は、 $○ \times \triangle + \square \times \star = \bigcirc$

同じ考えの○○さんはどう説明しているのかな、聞いてみよう

なるほど！すごい！

図形を横に切って考えると…

ここまでは大丈夫？

ここに線を書き加えて、長方形からも考えることができるよ。

⑤中間交流

・それぞれの図形の面積を求めた方法を紹介し、よい説明の共有を回り、それぞれの考えの相違点・共通点を見つけ出す。

○○さんは、わたしと同じ面積を求めていたけど、正方形と長方形に分けて考えたよ。これだと計算が簡単だ！

○○さんは、式と図に番号をつけて説明していたよ。これだと説明が分かりやすい！！

どう分けたのか、見つけた図形（長方形・正方形）がかいてあったら仮わかな。

これであっているかな？友だちはなんていうのかな。

⑥学習をまとめる（3分）

○ふくざつな図形の面積を求めるときも、長方形や正方形をもとにして考えると、面積を求めることができるな。

⑦適用問題に取り組む（7分）

・図形を提示し、陣取りゲームの勝敗をつける

⑧振り返りをする

説明するときは…

③本時の展開を記述する。 ※子どもの思考の流れを想定し、予測される反応を考え、具体的な手立てを講じることを特に意識する。（ICTの活用も含めて）